# 後輩支援事業に関して

平成22年度の後輩支援事業は、図書寄贈と自主ゼミ等支援を行いました。審査委員は下記の通りです。

### 平成 22 年度 後輩支援審査員 参考:4年次所属大講座

1期	佐藤	忠	生物	2期 天尾 裕子(旧姓:田中)	生物
3期	阿保	陽子 (旧姓:佐藤)	生物	4期 庄司 淳	地球
5期	諏訪	博則	物質	6期 長谷部 勝洋	物質
7期	秦野	諭	地球	8期 林 祐介	生物
9期	石塚	清香	物質	10 期 波多野 智美	地球
11 期	深町	幸宏	生物	12 期 宮本 直人	物質
13 期	片山	美春	地球		

審査員は、各学年の幹事または前審査委員から推薦して頂き、専攻分野の偏りが少なくなるように調整して決定されました。 (事務担当) 4 期 間島 啓太 12 期 畑澤尚宏 13 期 福田弥生 13 期 牧田拓

第一次審査(書類選考)を行い、平成23年10月3日に第二次審査会を開催して、以下の書籍の寄贈と、自主ゼミ支援額を最終決定し支援致しました。

#### 平成 22 年度 事業報告

気象ゼミ	援助額	¥ 2,560
河川環境研究会	援助額	¥ 19,200
環境問題現場ゼミ	援助額	¥ 15,620
野外生物研究会	援助額	¥ 9.920

書籍 No.1	平成 22 年度版環境・循環型社会・生物多様性白書	¥ 2,500
合計		¥49,800

# 平成 23 年度 審査委員 参考:4年次所属大講座

1期	佐藤	忠	生物	5期	諏訪 博則	物質
7期	秦野	諭	地球	8期	林 祐介	生物
9期	石塚	清香	物質	10期	波多野 智美	地球
11期	深町	幸宏	生物	12 期	宮本 直人	物質
13 期	片山	美春	地球	14 期	小川 美里	生物

審査員は、各学年の幹事または前審査委員から推薦して頂き、専攻分野の偏りが少なくなるように調整して決定されました。 (事務担当) 4期 間島 啓太 13期 牧田拓 14期 澤正秋 14期 富井充

### 平成 23 年度 申請概要

### 自主ゼミ等援助の部

グループ名	河川環境研究会	84 名	申請金額	36,900 円		
代表 3年(16	期)嘉代梓		副代表 2年(17期) 有本直幸			
主な活動目的(申請書より一部抜料	卆)		申請内容			
河川環境研究会(カワゼミ)では、	このさまざまな要因を総合的に理	<b>[解することで、河川の水質</b>	・備品(バケツ、乾電池、温度計、透視度計部品、コピーカード)代			
環境について多角的な視点から考	えられるよ <b>う</b> になることを目的と	しています。主な活動の一	・ガソリン代			
つとして、信濃川 24 時間水質一斉	調査を行っています。		•高速道路代			
グループ名	環境問題現場ゼミ	77 名	申請金額	28,000 円		
代表 3年(16其	朗) 木村祐輔		副代表 3年(16期) 島田えりな			
主な活動目的(申請書より一部抜料	<del>추</del> )	申請内容				
環境問題現場ゼミでは、問題が起	起こっている現場に行くことで環境	<b>竟問題について理解し考え</b>	·交通費			
ていくことを目的としている。今後も	「現場に」行くことを重視して活動	していきたい。	・コピーカード代			
グループ名	野外生物研究会	25 名	申請金額	13,160 円		
代表 3年(16期) 永井宏明			副代表 2 年(17 期	)太刀川翼		
主な活動目的(申請書より一部抜料	卆)		申請内容			
野外生物研究会は、生物観察や	野外に出ることに興味がある学	・・ガソリン代				
外に出て生物を採集、観察すること	とで、生物の同定とそのために必	・観察用水槽				
を目的としている自主ゼミです。さ	らに、各々の得意な分野をお互い	・コピーカード				
全体の知識の向上、さらに構成員「	司士の親睦を図ることも考えてい	ます。	・剪定ばさみ			

### 図書寄贈の部

	推薦者	書名	著者	発行所	定価	書籍の概要
1	審査員	平成 23 年版 環境・循環	環境省	日経印刷	¥2,500	毎年寄贈してはどうかという案が出ており、H16~
		型社会·生物多様性白書				H22にかけて寄贈済みである。
2	学生アンケ	レーヴン/ジョンソン生物学	P.レーヴン/G.	培風館	(上)¥6,720、	細胞学、遺伝学、発生学、分子生物学、分類学、進
	-ト(2 名か	(上)(下)原書第7版	ジョンソン/J.ロ		(下)¥9,975	化学といった生物学全般の内容が網羅されていて、
	らの推薦		リス/S.シンガ			しかも図表や写真がカラーでわかりやすい。研究室
			一共著			に入ってからも使えます。講義でわからなかったとこ
						ろ、疑問点などを解決するのに役立つと思います。

# 審査結果

別紙3-2に示した審査員によって、第一次審査(書類選考)を行い、平成23年9月26日に第二次審査会を開催して、以下の書籍の寄贈と、自主ゼミ支援額を最終決定しました。

河川環境研究会 環境問題現場ゼミ 野外生物研究会	援助額 援助額 援助額	¥ 36,900 ¥ 28,000 ¥ 13,160
書籍 No.1	平成 23 年度版環境・循環型社会・生物多様性	¥ 2,500
	白書	
書籍 No.2	レーヴン/ジョンソン生物学(上)	Y 6,720
	レーヴン/ジョンソン生物学(下)	Y 9,975
合計		¥97,255